

環日本海海域の海洋汚染問題等を説明したパンフレット作成のお知らせ

富山湾を含む環日本海海域は、富山県や沿岸諸国にとって漁業資源、海上交通、レクリエーションなどの恩恵をもたらしてくれる共有財産です。しかしながら、この共有財産は、常に沿岸地域での人間活動の増大に伴う汚濁負荷量の増大やタンカーの海難事故による油の流出、さらには、海洋ごみによる被害などといった海洋汚染の脅威にさらされています。一方、我が国における海洋における関心は総じて低いと考えられ、また、学校教育における海洋教育は十分とはいえない状況でもあります。

環日本海海域が脚光を浴びている今日、海洋汚染を防止し、環境の保全を図っていくことはきわめて重要であり、これらを確実に達成するためには、沿岸住民一人ひとりが環境の現状を正しく理解し、一人ひとりが身近なところから活動を始めることが最も大切です。

このため、これら活動のきっかけづくりとして(財)環日本海環境協力センターでは、日本財団や富山県の支援を受けて、環日本海海域の沿岸諸国住民を対象とする海洋環境保全意識の普及・啓発活動の一環として『海辺の漂着物調査から海洋環境を考える』と題するパンフレットを作成しましたのでお知らせします。

また、当該パンフレットを活用した出前講座(環日本海・環境保全いざない教室)プログラムの提供や当センターの活動状況などを示したパネルの貸し出しなども実施しておりますことも併せてお知らせします。

表紙



規格

- ・規格 A-4版、カラー、14頁
- ・言語 日本語、中国語、韓国語、ロシア語の4ヶ国語
- ・数量 1,100部
- ・内容 海の誕生や生態系メカニズム、さらに海洋汚染防止のテーマをも盛り込んだ、児童にもわかりやすい文言及びイラストを記載しています。
- ・配布先 環日本海沿岸自治体等

内容(抜粋)



問合せ先

- 調査研究部
橋本、藤谷
- 電話: 445-1571
- 電子メール:
fujitani@npec.or.jp